

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1)調査時点 2021年4月1日
(2)調査対象期間 2021年1月～3月期の実績および2021年4月～6月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各30社、計150社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回答率
商業+食品業部会	30社	18社	60.0%
水産業部会	30社	20社	66.7%
機械工業部会	30社	19社	63.3%
建設業部会	30社	21社	70.0%
観光・サービス業+諸業部会	30社	22社	73.3%
合計	150社	100件	66.7%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概 況

－市内で初のコロナ感染者が確認されサービス業で大幅な悪化。来期も悪化の見込み－

1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(2021年1月～3月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比で▲29.0**と前回調査時と比較し、**1.2ポイントわずかに悪化**となりました。

部会別で前年同期比ベースをみると、商業・食品業 [前年 DI 値▲41.2→**今期▲33.3**]、水産業 [前年 DI 値▲38.9→**今期 5.0**]、機械工業 [前年 DI 値▲53.8→**今期▲10.5**]、建設業 [前年 DI 値▲29.4→**今期▲38.1**]、観光サービス・諸業 [前年 DI 値▲54.5→**今期▲63.7**] となりました。

今回の調査では、今年1月に紋別市内で初めての新型コロナウイルスの感染者が確認されたことにより、多くの市民が自主的に外出を自粛したことから、サービス業では飲食店を中心に大きな影響を受けました。これにより、持続化給付金等、国や道、紋別市による支援金で支えられていた資金繰りが、長引くコロナ禍で悪化しているのではないかと推測されます。一方で、水産業は前年同期と比較して業況が「好転」との回答が多くなり、唯一のプラスの値となりました。

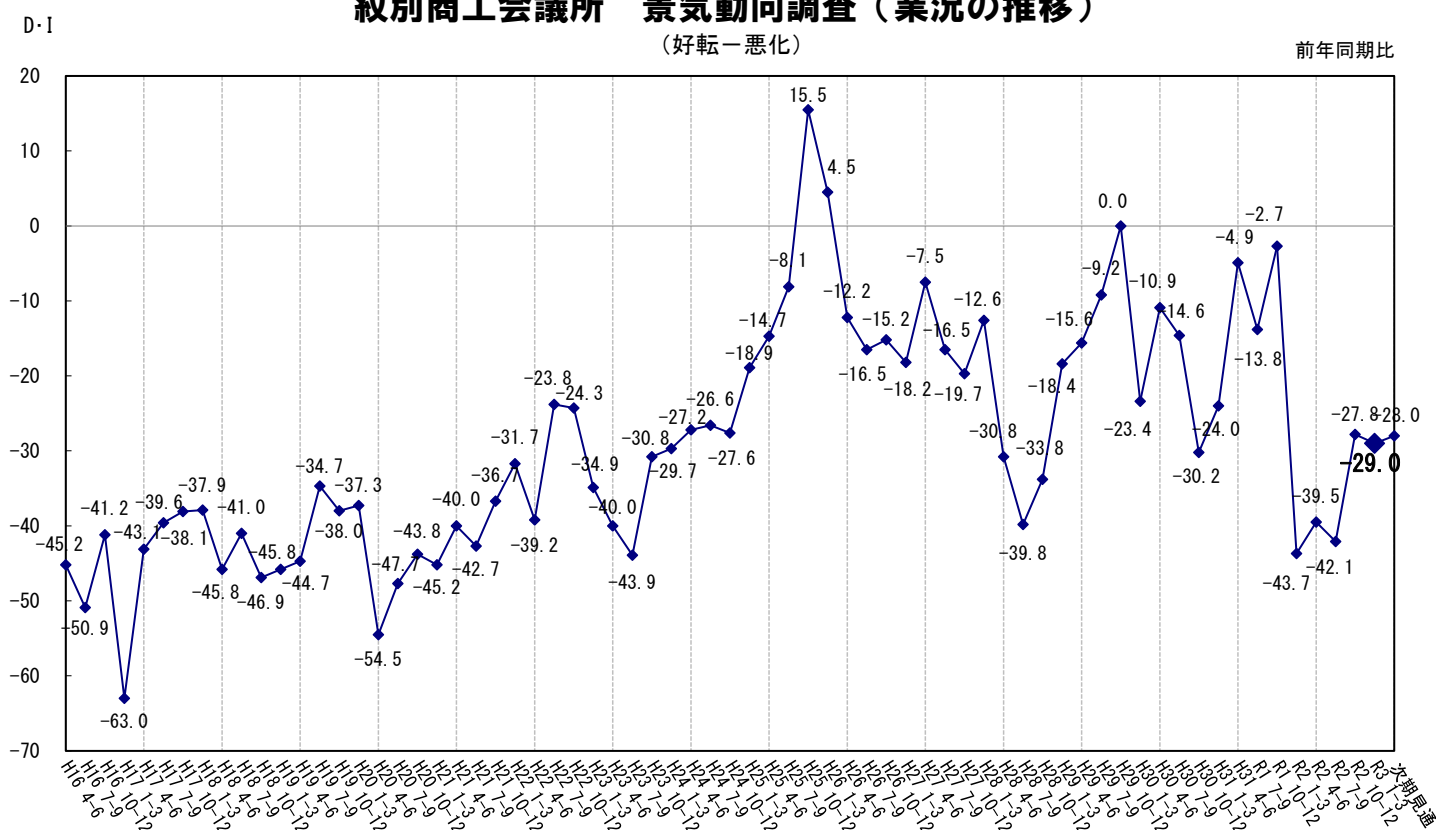
次期(2021年4月～6月)については、**業況判断DI(次期見通し▲28.0)**は**1.0ポイント回復**の予測となっており、水産業を除く業種で依然として厳しい見通しとなっています。

国や北海道からの緊急事態宣言やまん延防止措置の発出に伴う行動自粛や休業要請等、経済活動への影響は計り知れません。連休などにより人流が活発になることに比例して、感染者の増加が懸念される中、長期化した自粛生活への慣れから、経済回復への動きの鈍化を危惧する慎重な見方もあり、今後の動向をさらに注視していきたいと思います。

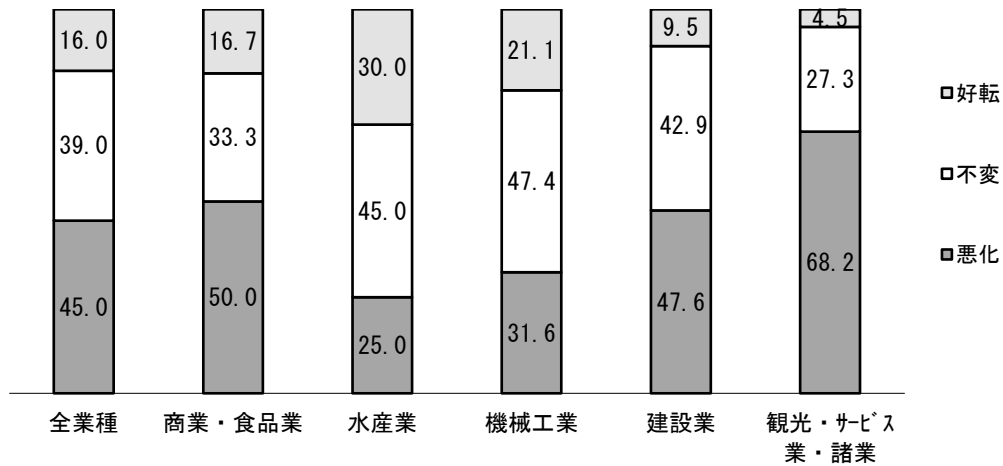
紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)

(好転－悪化)

前年同期比



今期の業況（前年同期比）



全業種の経営上の問題点としては、「従業員の確保難」「需要の停滞」「仕入・材料単価の上昇」を訴える声が多く寄せられています。

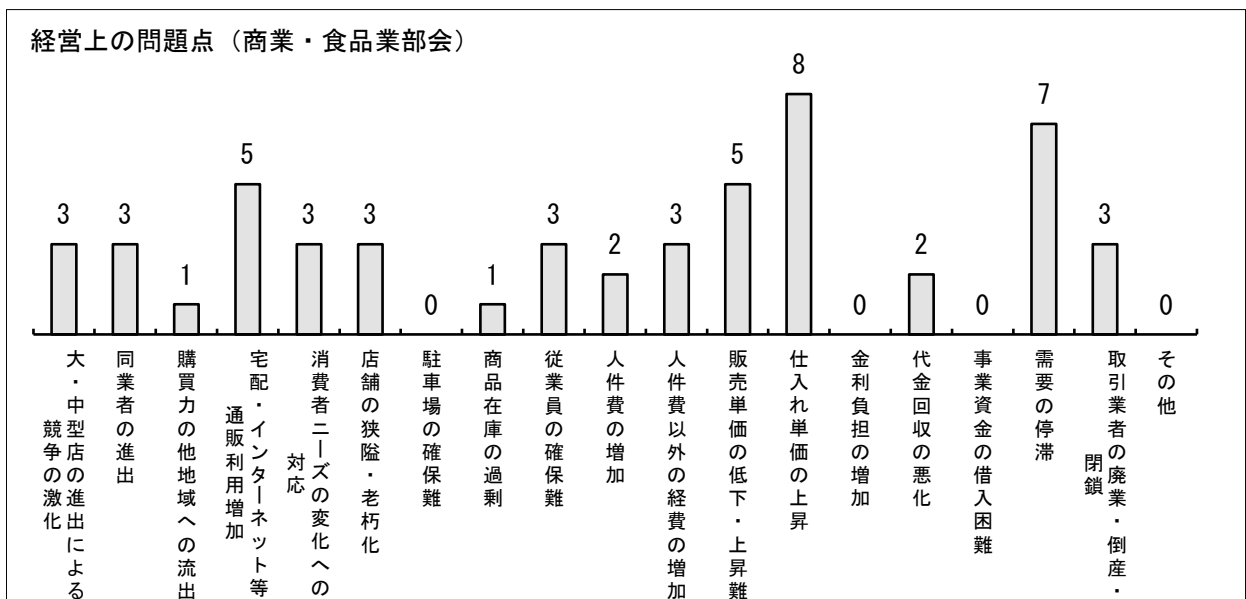
部会別の動向

【商業・食品業部会】〔業況判断 DI 値（前年同期比）▲33.3（前年 DI 値▲41.2、来期見通し▲50.0）〕

業況 DI 値（前年同期比）は、7.9 ポイントの回復となりました。食料品販売等、徐々に業況は回復傾向にあったものの、コロナウイルスの感染状況は客足の増減へも影響し、近隣での感染情報が流れると極端に減少するとの声も寄せられています。また、感染防止対策の備品や手指消毒用アルコール等の除菌商品の経費増加に加え、取引業者の廃業・倒産等も出てきています。来期の見通しは、▲50.0 と今期よりも更に悪化の予測となっています。経営上の問題点としては、「仕入れ単価の上昇」「需要の停滞」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・近くでコロナの人が出た時のお客様の減少がすごかった。違う地域から来たというお客様に身構えてしまう。消毒液がいくらあっても足りない。（食料・日用品小売）
- ・消費力の落ち込み＝各産業の所得の落ち込み。今こそ地産地消に向かうべきではないか（食料・日用品小売）

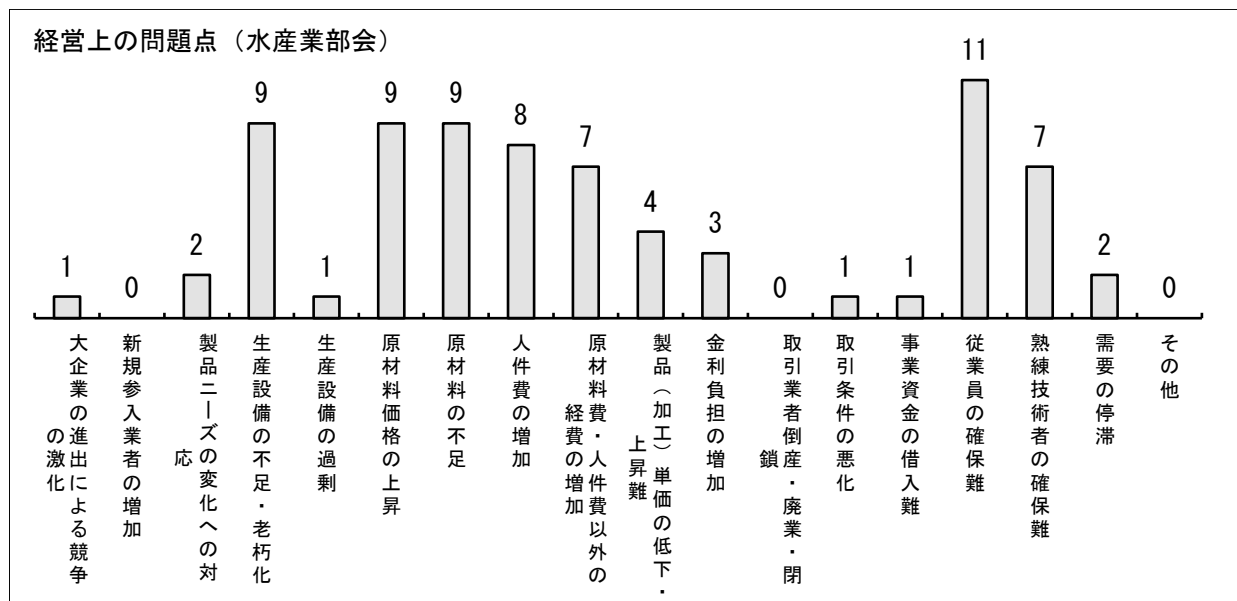


【水産業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）5.0（前年DI値▲38.9、来期見通し5.0）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、43.9ポイント回復し、唯一好転となりました。前年同期に滞っていた輸出の回復と、好調な紋別市ふるさと納税の増加による売り上げの増加も好転の要因となっているものと思われます。しかしながら、日本人のみならず、外国人実習生の入国が遅れていることで、人手不足は深刻化しています。来期は主力のホタテの水揚げが本格化することから、今期よりも好転する見通しとなっています。経営上の問題点としては「従業員の確保難」が最も多く、「生産設備の不足・老朽化」「原材料単価の上昇」「原材料の不足」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・コロナによる入国ができない（人手不足）（水産加工）

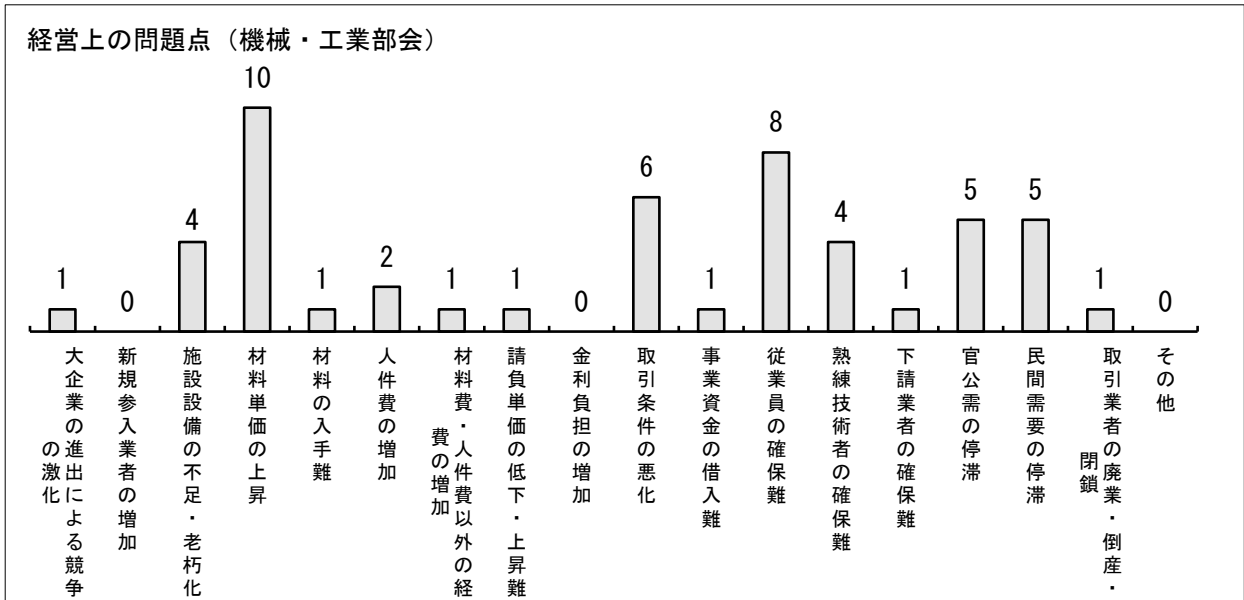


【機械工業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲10.5（前年DI値▲53.8、来期見通し▲31.6）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、前年比43.3ポイントの回復となりました。前年同期は多くの部品が製造されている中国からの輸入が停止したことにより、注文があっても作業が進められないとの声が多く寄せられていましたが、そのような状況も解消されつつあります。しかしながら、業況の停滞や感染リスク回避等から、作業や納期の延期・保留もあるとの声が寄せられています。来期の業況見通しは、更に悪化する予想となっています。経営上の問題点としては「材料単価の上昇」「従業員の確保難」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

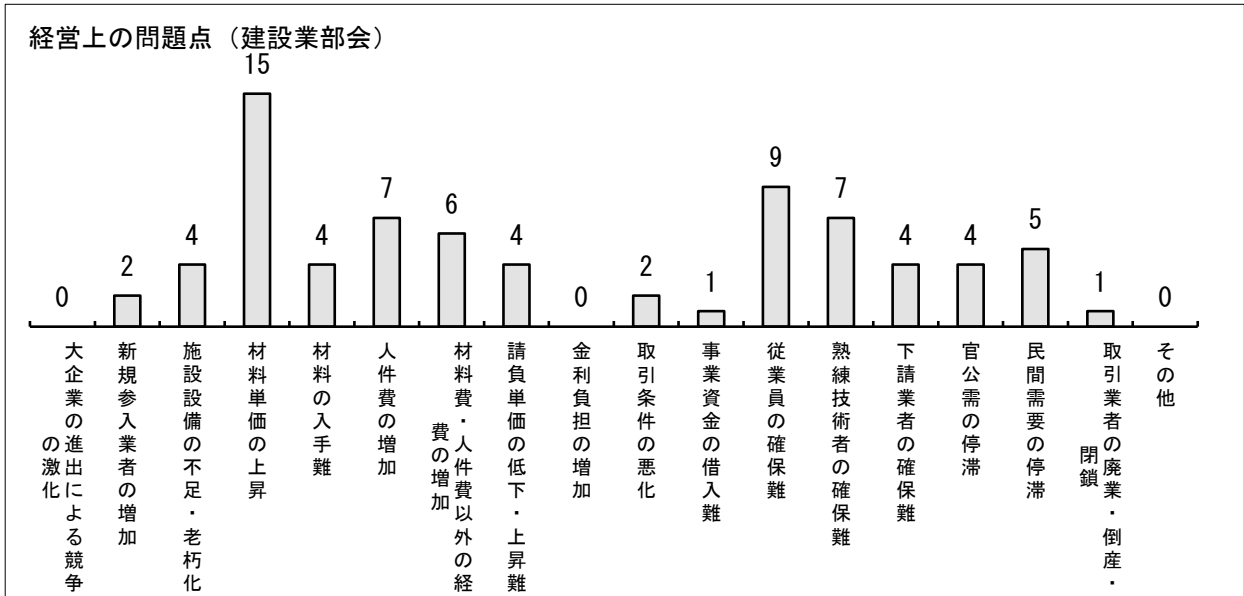
- ・業界の問題はない。感染が増えている中で、内輪隠蔽体質の紋別が人権を理由に感染者の非公開など意味がわかりません。内輪でなあなあでやるのも結構だが、地方から来たら異次元。（資材製造・販売）
- ・コロナ禍で開店休業が続き、先行きが不透明の状態です。前期の売上は民需・官公需要等は少なからず安定しておりましたが、今期1月から3月は前期比率の68%と落込み、正に極楽からどん底への様相です。特に官公庁の需要はゼロに等しく、見通しは全く立ちません。営業も預貯金を取り崩し自助努力で頑張るしか有りません。なんとしてもコロナ収束を願うばかりです。（室内装飾製造）
- ・コロナ禍で先が見えず、民間の停滞が気になります（鉄工業）



【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲38.1（前年DI値▲29.4、来期見通し▲14.3）〕

業況判断DI値（前年同期比）は8.7ポイントの悪化となりました。比較的個人客や内装工事等を請け負う事業者からは、業況の悪化を訴える声が多く寄せられています。また、市外業者の参入に加え、コロナの感染者増加から施工時期の先送りや原材料などのコストの増加もマイナス要因となっています。また、例年よりも降雪量が少なかったことから、除雪や排雪の作業も減少しました。来期見通しは、今期よりも回復する予測となっています。経営上の問題点としては「材料単価の上昇」「従業員の確保難」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》



【観光サービス業・諸業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲63.7

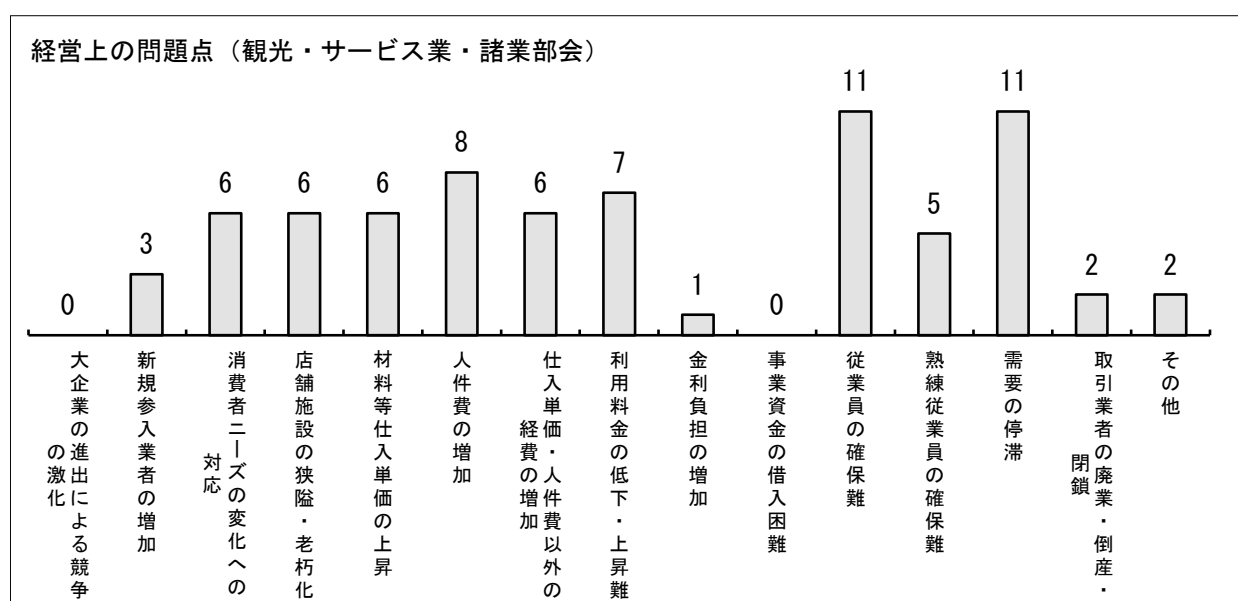
（前年DI値▲54.5、来期見通し▲50.0）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、9.2ポイントの悪化となりました。冬観光の目玉であるガリソコ号ⅢIMELUがデビューし、市民を中心に利用客は順調に推移したものの、首都圏を中心に緊急事態宣言が発出されたことにより、観光客は大きく減少しました。1月には市内でのコロナウイルスの感染者が確認されたことにより、市内における自主的な外出自粛が更に増加し、人流の停滞に伴い、自主休業する飲食店は、長引くコロナ禍で経済的・精神的にも疲弊し、廃業を懸念する声も寄せられています。この他、感染リスクの高い高齢者のケアをする福祉関連からもコ

コロナ禍での対応に苦慮しているとの声も寄せられています。経営上の問題点としては、「需要の停滞」、「従業員の確保難」を訴える声が多くなっています。来期も依然として厳しい見方となっています。

《業界の問題点等》

- ・コロナ支援金の色々な申請はあるが、自分ではできない。(飲食業)
- ・HACCPの考え方を取り入れた。衛生管理の法定化等。慣れて行く煩雑さ、時間的な困難さがあるのかなあと思っている。(飲食業)
- ・飲食店の時短営業や休業で本当にコロナ対策になっているのか疑問。このままでは閉業する店も増えてくるのでは。(飲食業)
- ・紋別のコロナ発生で、市外からのお客さんの来店サイクルが長くなっている(理美容業)
- ・この状況を耐え抜くしかないと思っています。(旅客運送業)
- ・コロナ禍が収束しない限りどうにもならないと考えます。(飲食業)
- ・コロナ禍となり、利用者さんの心身の状況に大きく変化が出てきており、(受け入れ、入院、施設入所など)対応が困難となっている。(介護事業)



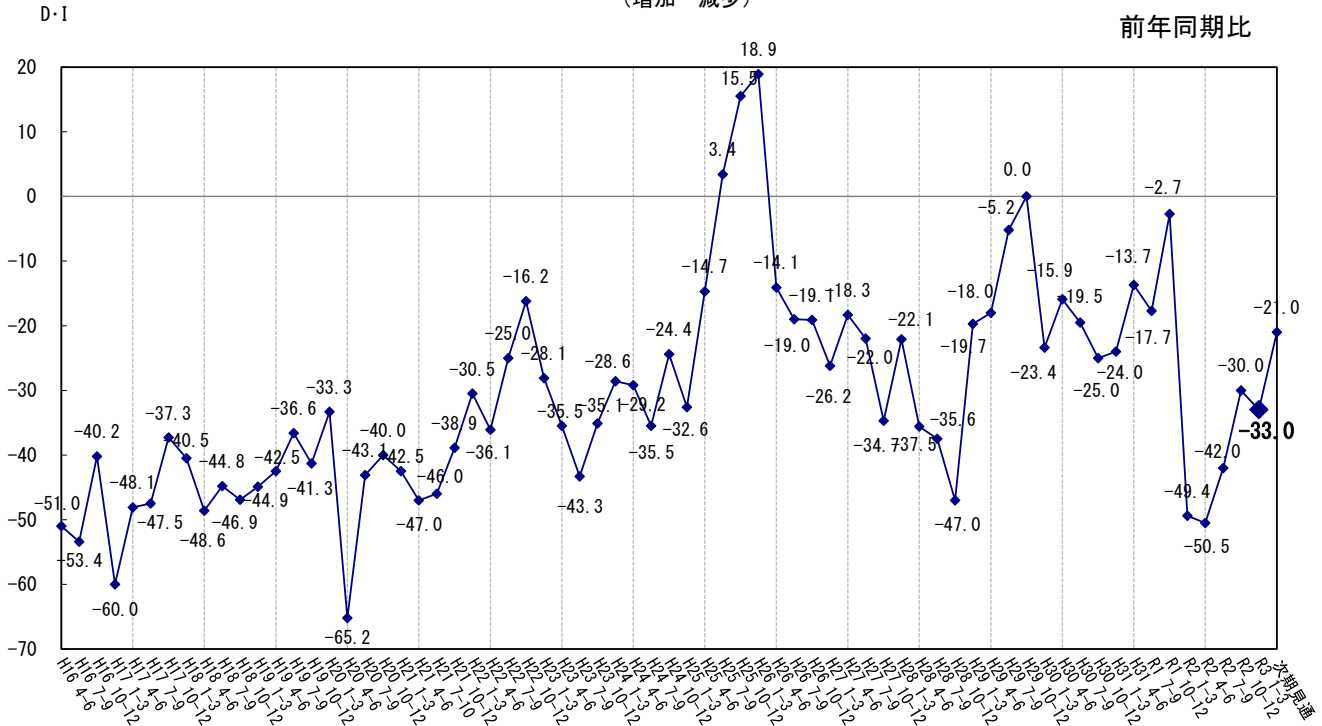
2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高

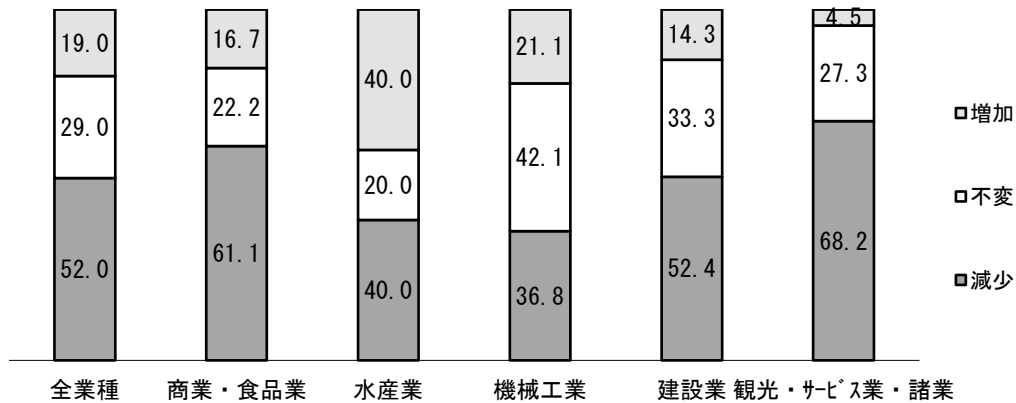
【前年同期比】（2020（令和2）年1月～3月期の水準と比較した今期の売上高）

売上高・生産高推移（全業種平均D・I）

（増加－減少）



今期の売上高・生産高（前年同期比）



全業種平均でDI値▲33.0〔前回調査時（令和2年10～12月期▲30.0）より3ポイント悪化〕
商業・食品業、水産業、機械工業で回復、建設業、観光サービス業・諸業で悪化。

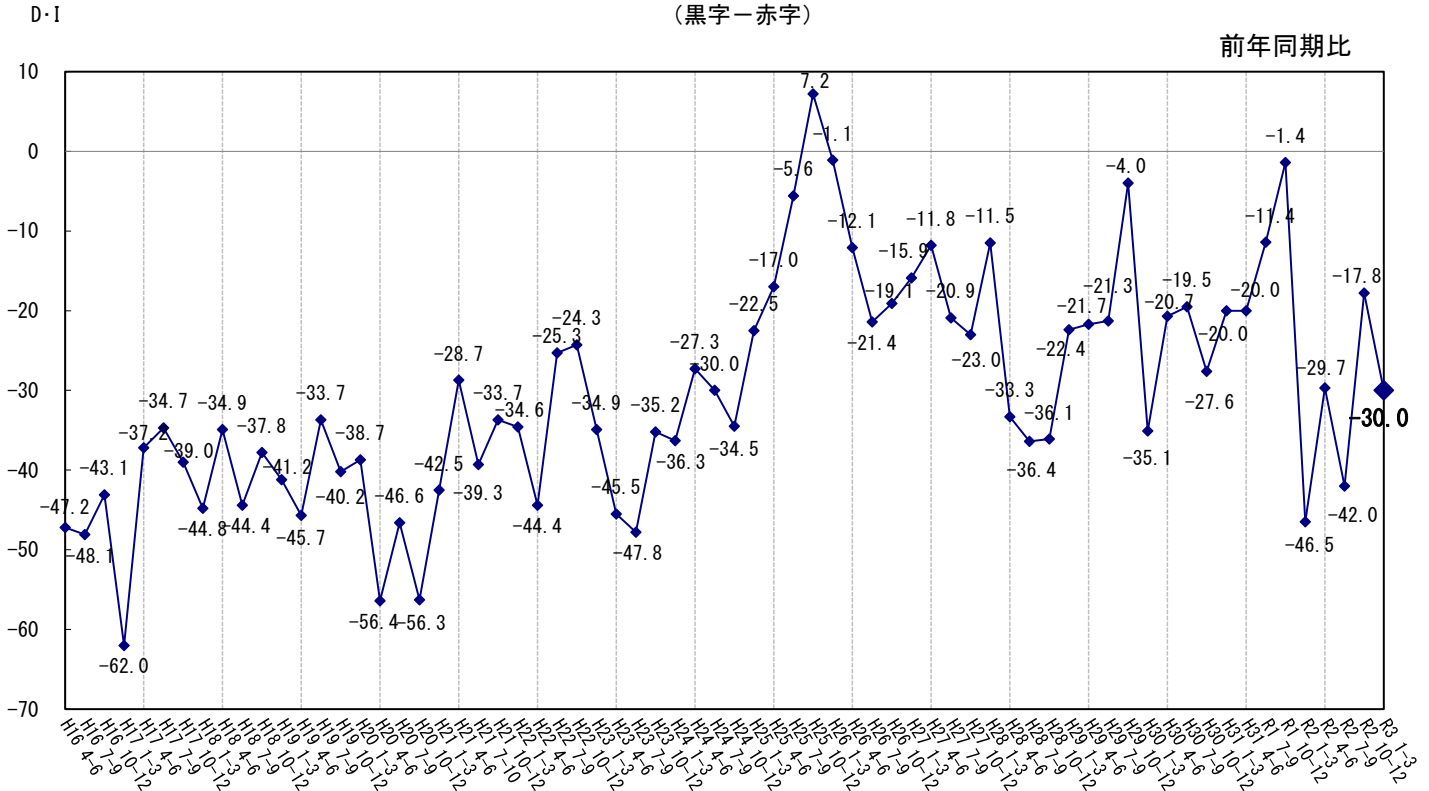
〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲55.8→▲44.4〕、水産業〔前年▲27.8→0.0〕
機械工業〔前年▲69.2→▲15.7〕、建設業〔前年▲35.3→▲38.1〕
観光・サービス業・諸業〔前年▲59.1→▲63.7〕

(2) 今期の採算

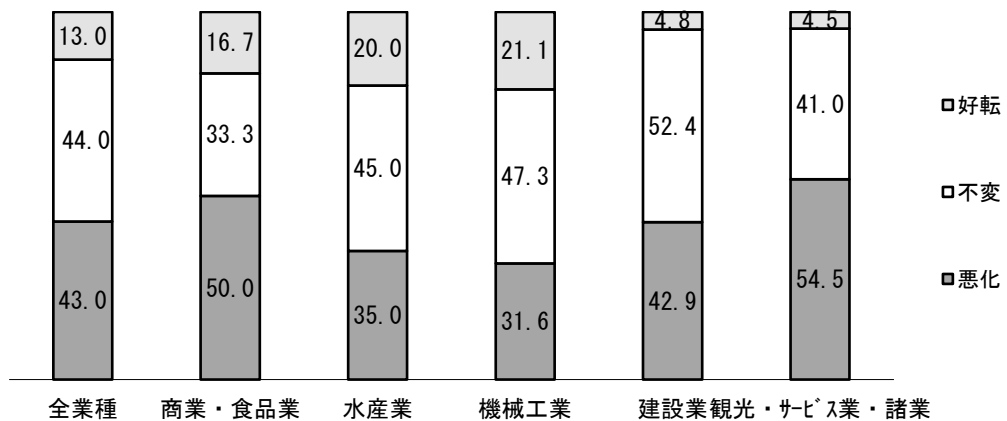
【前年同期比】(2020(令和2)年1月～3月期の水準と比較した今期の採算水準)

採算推移(全業種平均D・I)

(黒字-赤字)



今期の採算(前年同期比)



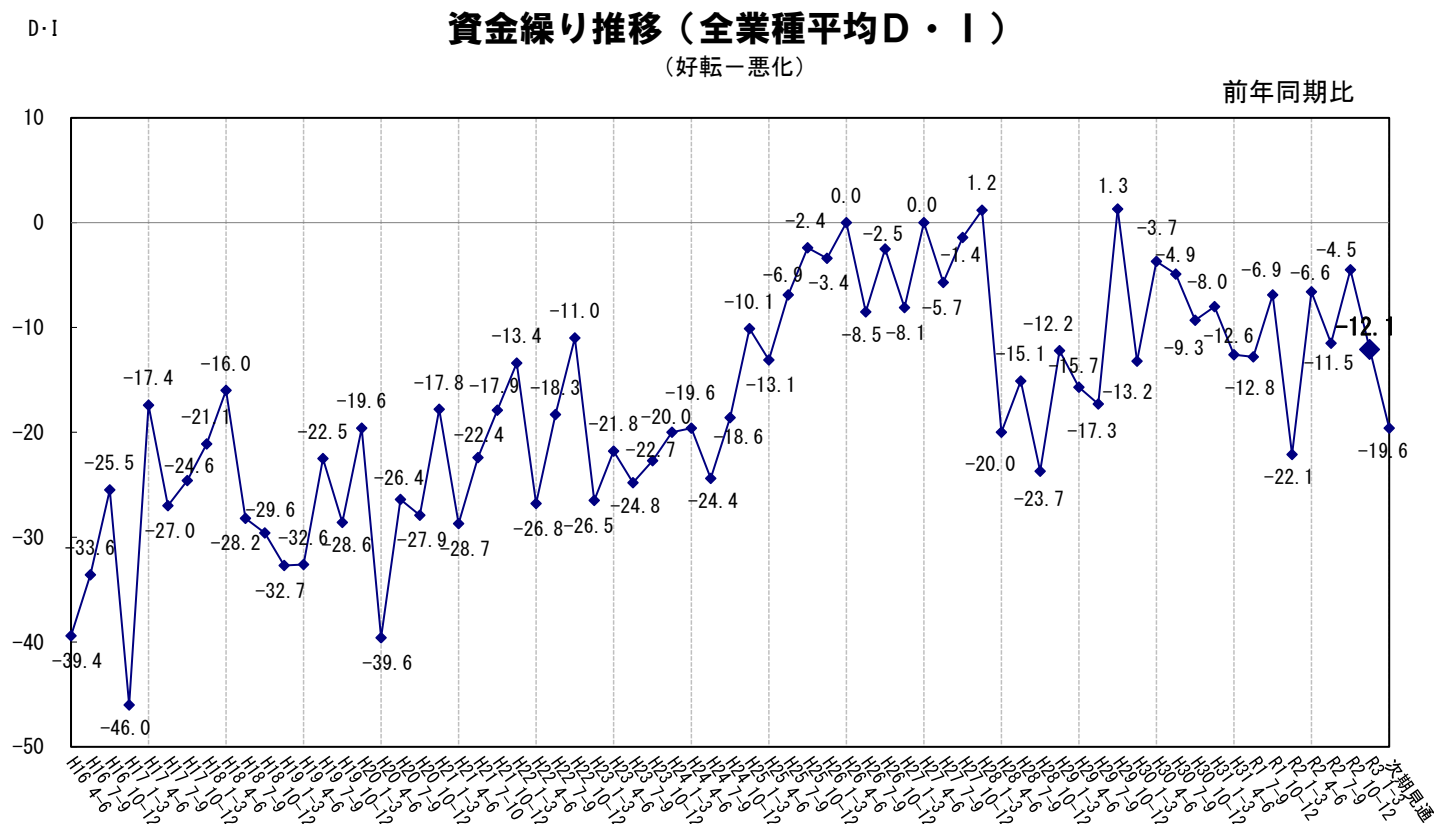
全業種平均でDI値▲30.0〔前回調査時(令和2年10～12月期▲17.8)より12.2ポイント悪化〕
商業・食品業、水産業、機械工業は回復、建設業はわずかに悪化。

[部会別DI値]

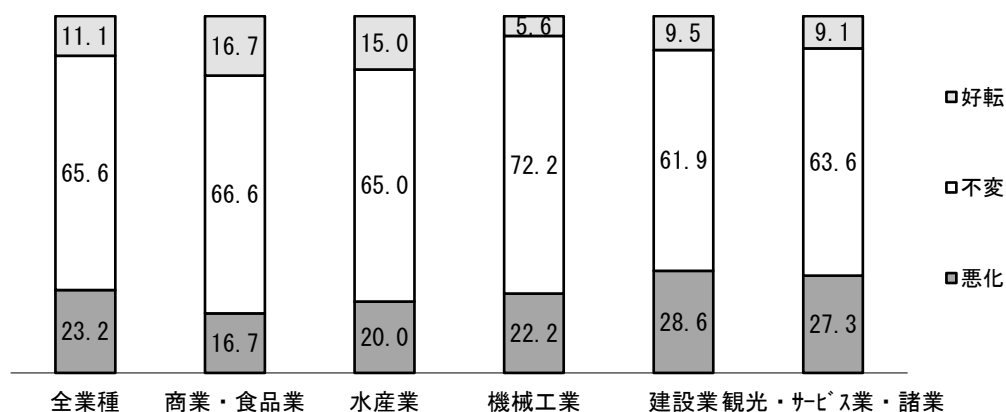
商業・食品業〔前年▲41.1→▲33.3〕、水産業〔前年▲50.0→▲15.0〕
機械工業〔前年▲61.5→▲10.5〕、建設業〔前年▲31.3→▲38.1〕
観光・サービス業・諸業〔前年▲50.0→▲50.0〕

(3) 今期の資金繰り

【前年同期比】(2020(令和2)年1月～3月期の水準と比較した今期の資金繰り)



今期の資金繰り(前年同期比)



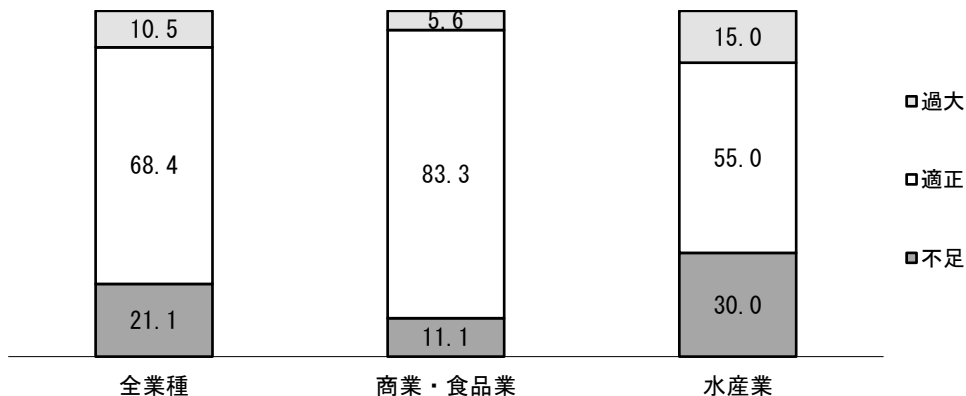
全業種平均でDI値▲12.1〔前回調査時(令和2年10～12月期▲4.5)より7.6ポイント悪化〕
水産業、機械工業、観光・サービス業・諸業で回復、建設業は悪化。

〔部会別DI値〕
 商業・食品業〔前年0.0→0.0〕、水産業〔前年▲27.8→▲5.0〕
 機械工業〔前年▲38.5→▲16.7〕、建設業〔前年▲6.3→▲19.1〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲36.4→▲18.2〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】(2020(令和2)年1月～3月期の水準と比較した今期の在庫水準)

今期の在庫水準(前年同期比)



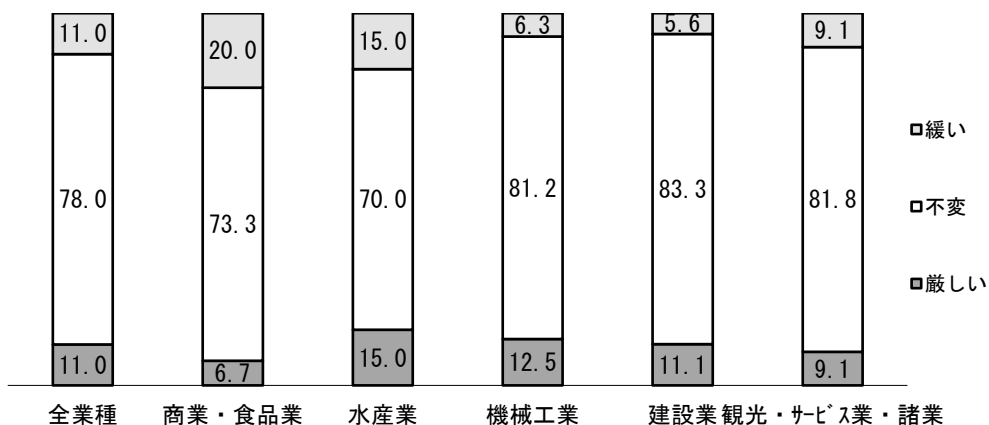
全業種平均でDI値▲10.6〔前回調査時(令和元年10～12月期▲5.9)より4.7ポイント在庫不足〕

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年29.4→▲5.5〕、水産業〔前年11.1→▲15.0〕

(5) 今期の金融機関の貸出姿勢

【前年同期比】(2020(令和2)年1月～3月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応)

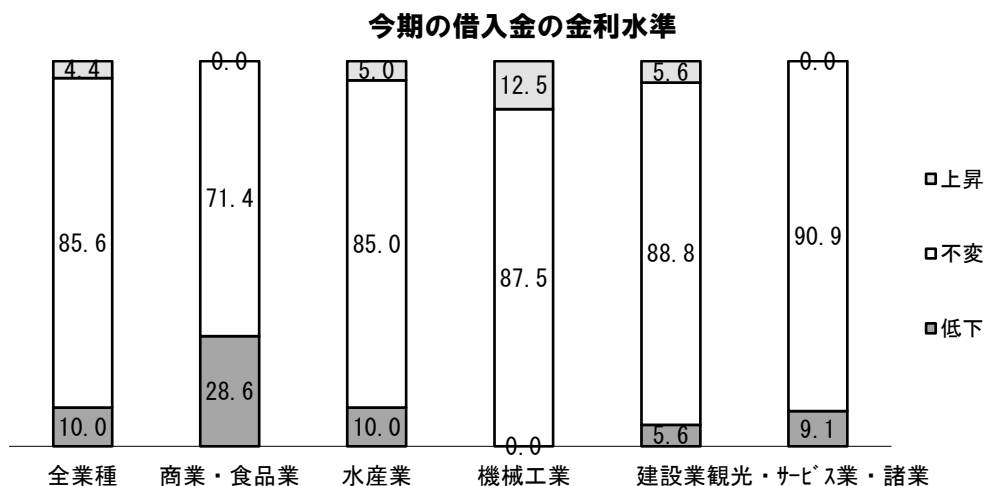
今期の金融機関の貸出姿勢



全業種平均で0.0ポイント。商業食品業13.3、水産業0.0、機械工業▲6.2、建設業▲5.5、観光・サービス業・諸業0.0

(6) 今期の借入金の金利水準

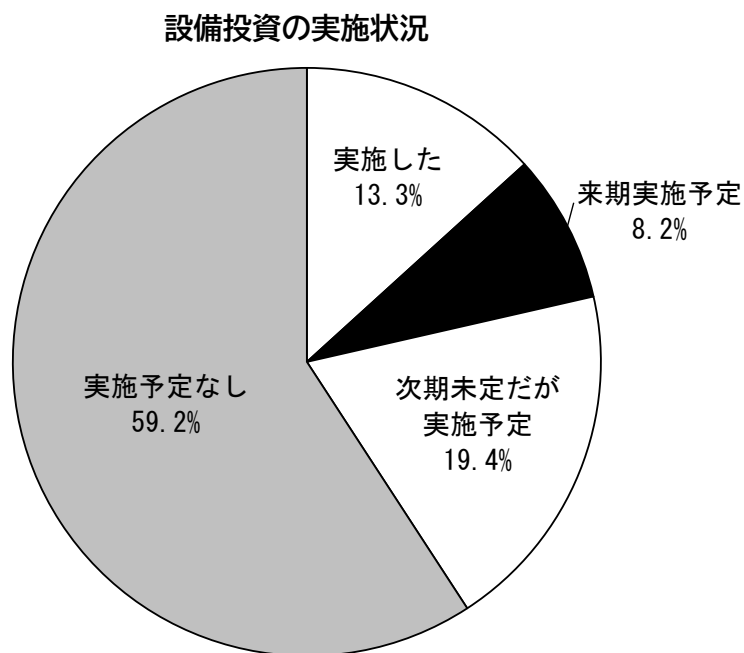
【前年同期比】(2020(令和2)年1月～3月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準)



全業種平均で▲5.6。商業食品業▲28.6、水産業▲5.0、機械工業 12.5、建設業 0.0、観光・サービス業・諸業▲9.1

(7) 設備投資の実施状況

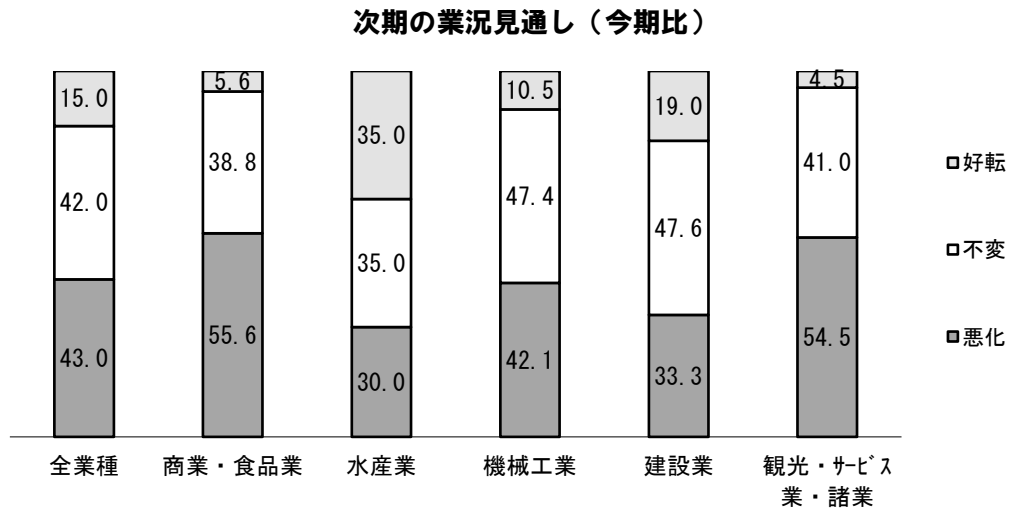
今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について



3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

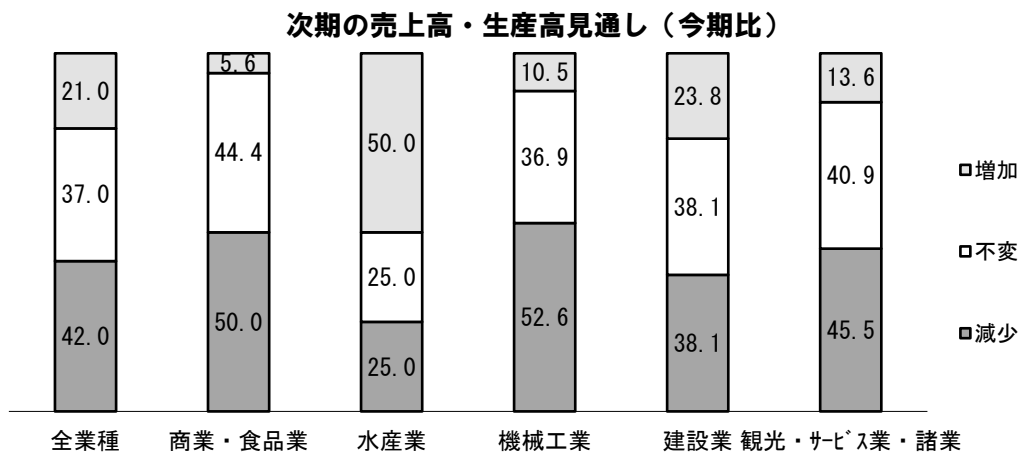
【今期比】（令和3年1月～3月期の水準と比較した来期の業況見通し）



全業種平均 DI 値▲28.0 [今期の業況（前年同期比▲29.0）より1ポイント回復の見通し]

(2) 来期の売上高・生産高

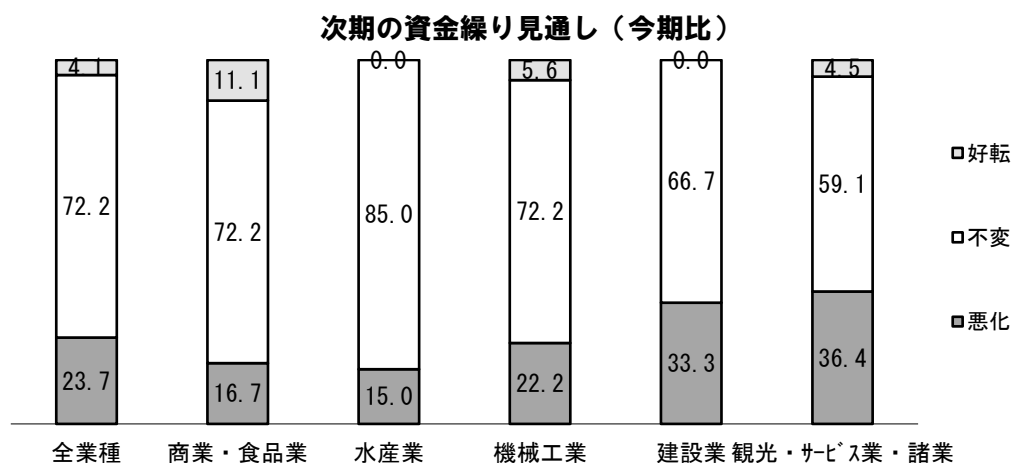
【今期比】（令和3年1月～3月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）



全業種平均 DI 値▲21.0 [今期の売上高・生産高（前年同期比▲33.0）より12ポイント悪化の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（令和3年1月～3月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）



全業種平均 DI 値 ▲19.6 [今期の資金繰り（前年同期比▲12.1）より 7.5 ポイントわずかに悪化の見通し]

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 サ ー ビ ス 業 ・ 諸 業
業況判断 D・I	今期実績	▲29.0	▲33.3	5.0	▲10.5	▲38.1	▲63.7
	来期見通し	▲28.0	▲50.0	5.0	▲31.6	▲14.3	▲50.0
売上・生産 D・I	今期実績	▲33.0	▲44.4	0.0	▲15.7	▲38.1	▲63.7
	来期見通し	▲21.0	▲44.4	25.0	▲42.1	▲14.3	▲31.9
在 庫 D・I	今期実績	▲10.6	▲5.5	▲15.0	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採 算 D・I	今期実績	▲30.0	▲33.3	▲15.0	▲10.5	▲38.1	▲50.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	▲12.1	0.0	▲5.0	▲16.7	▲19.1	▲18.2
	来期見通し	▲19.6	▲5.6	▲15.0	▲16.6	▲33.3	▲31.9
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	0.0	13.3	0.0	▲6.2	▲5.5	0.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	▲5.6	▲28.6	▲5.0	12.5	0.0	▲9.1
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準 D・I 値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。